

● Photo sketch ●



2/20 インフルエンザにも負けません

土岐市生活技能コンクール下石町子連記録会が下石小学校で開催されました。いかに早く袋にひもを通せるかを競う競技や、複数の数字を瞬時に記憶する競技など9つの競技が行われ、児童たちは今までの練習の成果を存分に発揮しました。今年はインフルエンザの流行で市内全域の大会ではありませんでしたが、保護者や教員も参加するなど、いつもとは違った交流を図ることができ、皆さん和気あいあいと競技を楽しんでいました。



2/26 高齢者のための生き生き大学

はなの木大学の閉校式が、市文化プラザで行われました。はなの木大学は65歳以上の方が対象の高齢者大学で、この日は485人の学生が1年間の学習を終えました。

式後には、絵画や書道、写真などの各クラブが作品を展示し1年間の活動を紹介したほか、コーラスや健康体操などの各クラブが、ステージで日頃の成果を存分に披露しました。



3/4 被害を最小限に抑えるため

肥田町の中部国際自動車大学校で東海環状自動車道消防連絡協議会の研修会が開催されました。この会は、沿線の消防など関係機関の連携強化を図ることを目的として毎年行われています。今年は同校の協力を得て、7団体63人の消防職員などがハイブリッド自動車の構造と災害時の対応を学びました。実車研修では、感電しないためにどの部品をどうすれば良いかなどを講師が説明。職員らは、ビデオカメラなどで撮影しながら、真剣に講師の話を聞いていました。



3/9 地域と共に成長した6年間

妻木小学校で「6年生の卒業を祝う会・6年生からの感謝の会」が開かれ、児童62人と妻木町老人クラブ連合会のメンバー25人が参加しました。

はじめに、メンバーの指導の下、児童らがグラウンドゴルフに挑戦。初挑戦の児童がほとんどの中、力加減の難しさに苦戦しながらも、次第に慣れ、夢中でプレーしていました。その後、6年間お世話になった皆さんに、児童から感謝のことばとお礼の歌が贈られました。



3/9 優しさと思いやりの心を

駄知小学校に、岐阜地方法務局長と岐阜県人権擁護委員連合会長から感謝状が贈られました。同校は、東濃西部3市の小・中学校の中から今年度の人権推進校に指定され、仲間と協力し花を育てることで思いやりの心を育てる「人権の花運動」や、かけがえのない命について考える人権集会など、1年を通じて他人を思いやることや命の大切さを学びました。

左) 感謝状贈呈式
左下) 人権集会で人権擁護委員と一緒に合唱(12月)
下) 地域の方に贈ったひまわり



3/16 ホタルの舞う里づくり

地元住民らでつくる「鶴里ホタルの里づくりの会」の協力の下、鶴里公民館が取り組んでいるホタルの里づくり活動が評価され、文部科学省より「優良公民館」として表彰を受けました。この活動は平成7年より行われており、小学校でのホタルの飼育や毎年6月に行われる「ホタル祭り」など、地域住民と一体となった活動が高く評価されました。

下2枚) ホタルの幼虫放流会(濃南小学校・3月)
右下) 同町のホタル(鶴里公民館付近・昨年6月)

